



バックアップ アプライアンス Arcserve UDP 9000 シリーズのご紹介

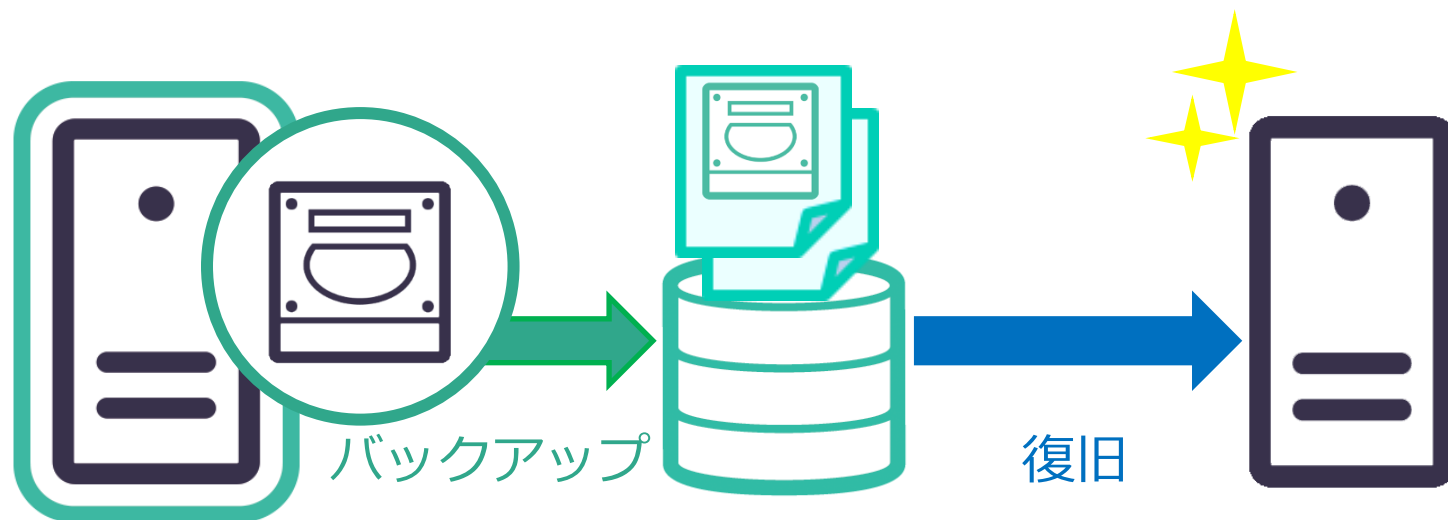
arcserve Japan 合同会社

超簡単イメージバックアップ Arcserve UDP



イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を簡単に復旧できます



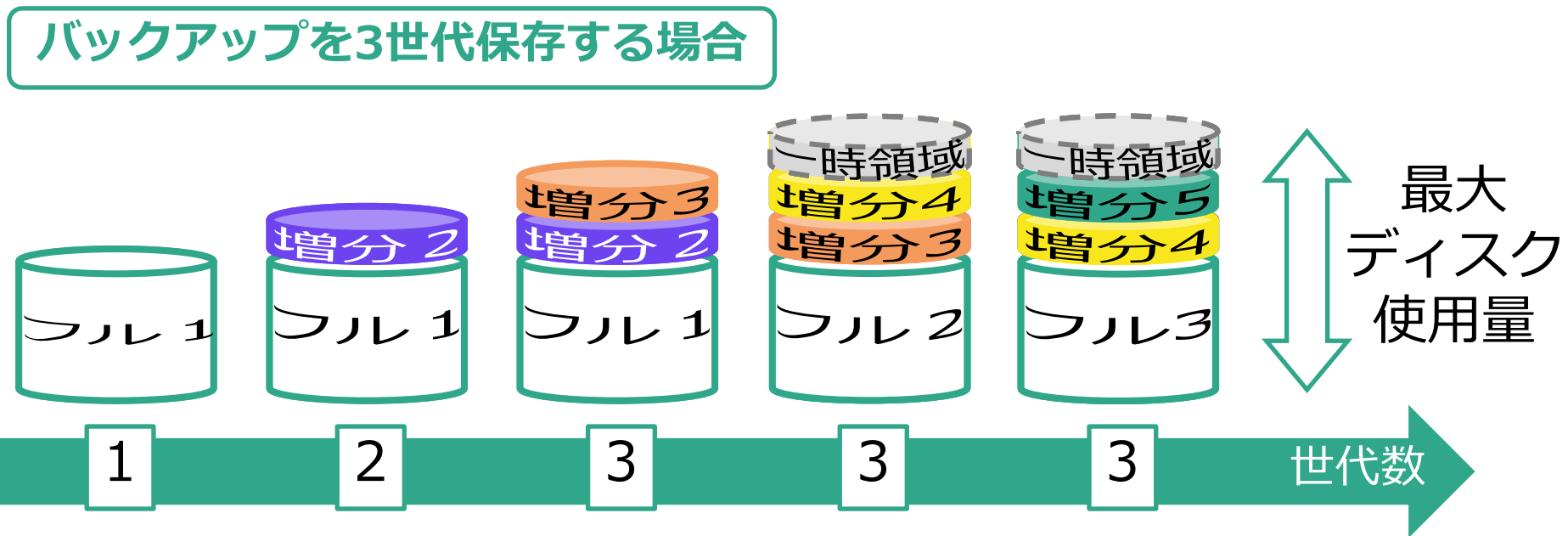
Arcserve UDPが選ばれる理由①

短いバックアップ時間



Arcserve UDPなら**フルバックアップは初回だけ**。以降は増分だけなので、速くて効率的！！

- ▶ バックアップの世代数が設定された数(*)を超えた際、
最も古い増分とフルを合成させてフルバックアップの世代を更新



※初期設定では7個を保持(最大1440個まで設定可)



<事例> 霧島酒造様のバックアップデータ量推移



Arcserve UDPが選ばれる理由②

1つのコンソールですべてを管理できる

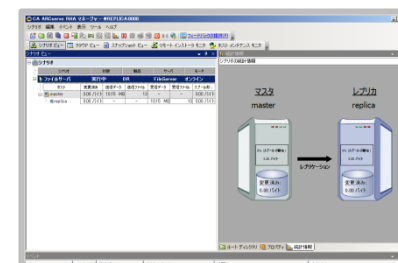
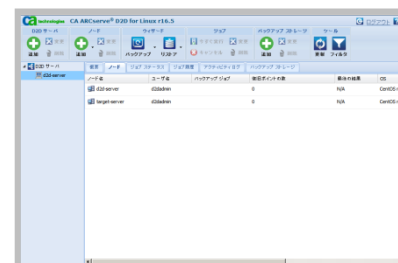
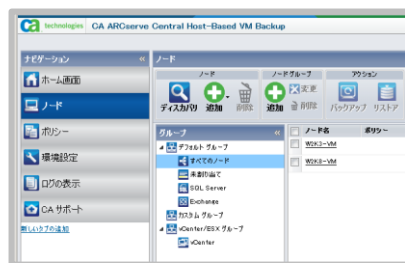
Windows/Linux、物理/仮想、バックアップ/レプリケーションをまとめて管理！
複数の製品を覚える必要はありません。

仮想マシン (エージェントレス)

物理サーバ (Windows)

物理サーバ (Linux)

Arcserve RHA



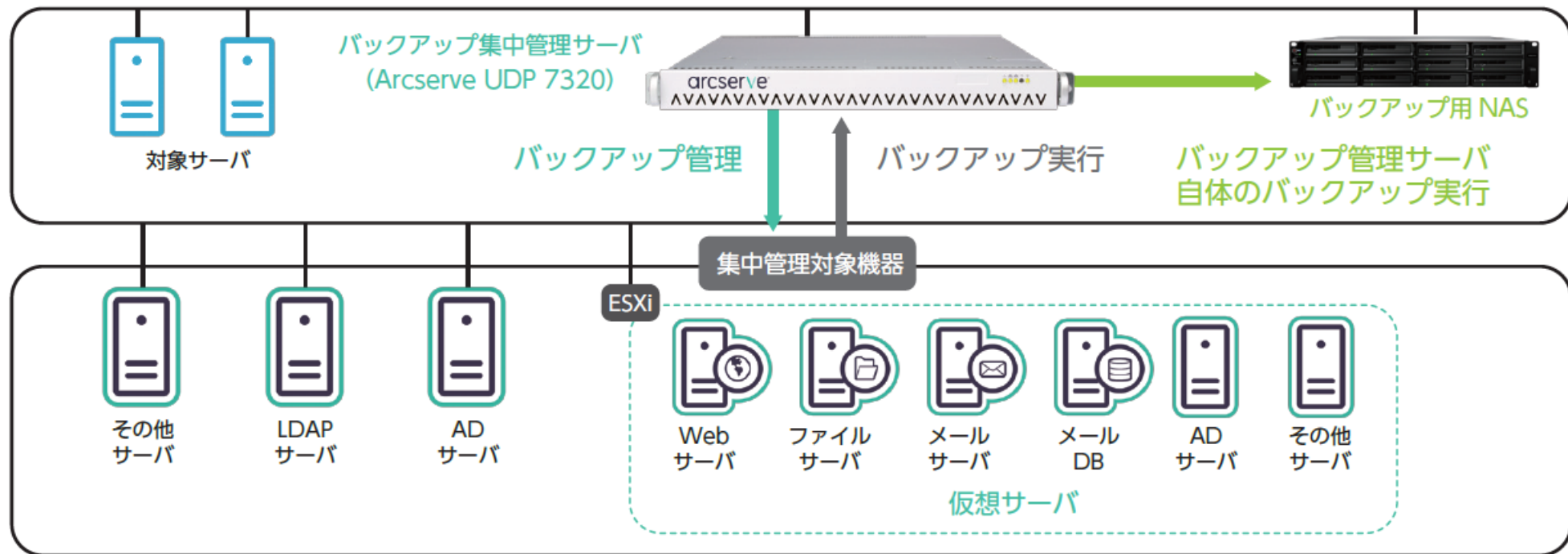
アクション	ノードの追加	フィルタ	ノード名	プラン	ハイパーバイザ	OS
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		VM(Cent64-3)		esx5-2	CentOS 4/5/6 (64 ビット)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		VM(WIN2K3)		esx5-2	Microsoft Windows Server 2003 (64 ビット)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		VM(CentOS)		replica	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		as@lab-cv12a-1			Windows Server 2012 R2 Datacenter
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		centos-guest	Linux Agent Backup Plan		CentOS release 6.4
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		replica			Windows Server 2012 R2 Datacenter
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		replica			Windows Server 2012 R2 Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		replica			Windows Server 2012 Standard
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		replica			Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ...)

ブラウザ (IE / Chrome / Firefox / Edge) でどこからでもアクセスできる



<事例> 甲南女子学園様のバックアップ構成

サーバごとにバラバラに行っていたバックアップを Arcserve UDP Appliance へ**一元化**！！
導入以前は**数日**かかっていたメールデータ復旧作業が**20分**程度に短縮！！





Arcserve UDP 9000 シリーズとは？

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス。
ストレージ容量 **4TB~80TB** の 7 モデルを用意しています。

従来モデルの 8000 シリーズから CPU、メモリ、SSD を新世代のものに更新するとともに、オンボードのネットワークを **10GBase-T ×2ポート** に強化しています。



Arcserve UDP 9000 シリーズ ここがすごい！



1、インストール不要の簡単セットアップ

バックアップ/リカバリに必要な管理コンポーネントはすべてインストール済。ウィザードに従い基本的な設定をするだけで**すぐに使えます**。

2、バックアップ用に最適化されたハードウェア

重複排除機能用のSSDを標準搭載。**メモリ/SSDのサイジングが必要ありません**。
バックアップ先の容量を 4TB ~ 80TB の間で選ぶだけ！

3、Arcserve UDP のライセンスを使い放題

バックアップ対象の数や容量に関わらず、Arcserve UDP Advanced Edition のライセンスが使い放題。後から**サーバ台数が増えても安心**です。

Arcserve UDP 9000 シリーズ メンテナンス内容



- ・ 納品から**5年間**のメンテナンスが標準セット
- ・ サポートへのお問い合わせはソフトウェア版と同じ窓口で対応
- ・ ハードウェア故障には**オンサイト**（現地訪問）対応が可能
（現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標※）
- ・ Arcserve UDP の**無償アップグレード**が可能 ※※

- ※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。
- ※ サポートの受付/作業時間は平日9時～17時30分です。ハードウェア サポートの受付/作業時間を延長する「24時間/365日 ハードウェア サポート オプション」もあります。
- ※※ アップグレード作業はお客様にて実施いただきます。



従来ソリューションとの価格比較

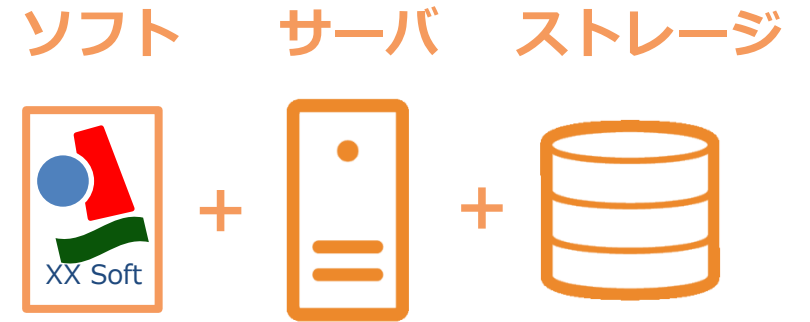
ライセンス使い放題、5年メンテナンス付、

Arcserve UDP 9200では12TBの容量で**380万円**。

ハード/ソフトを別々に調達するより簡単で割安！



VS



Arcserve UDP 9200 (12TB)	3,800,000円
--------------------------	------------

合計: 3,800,000円

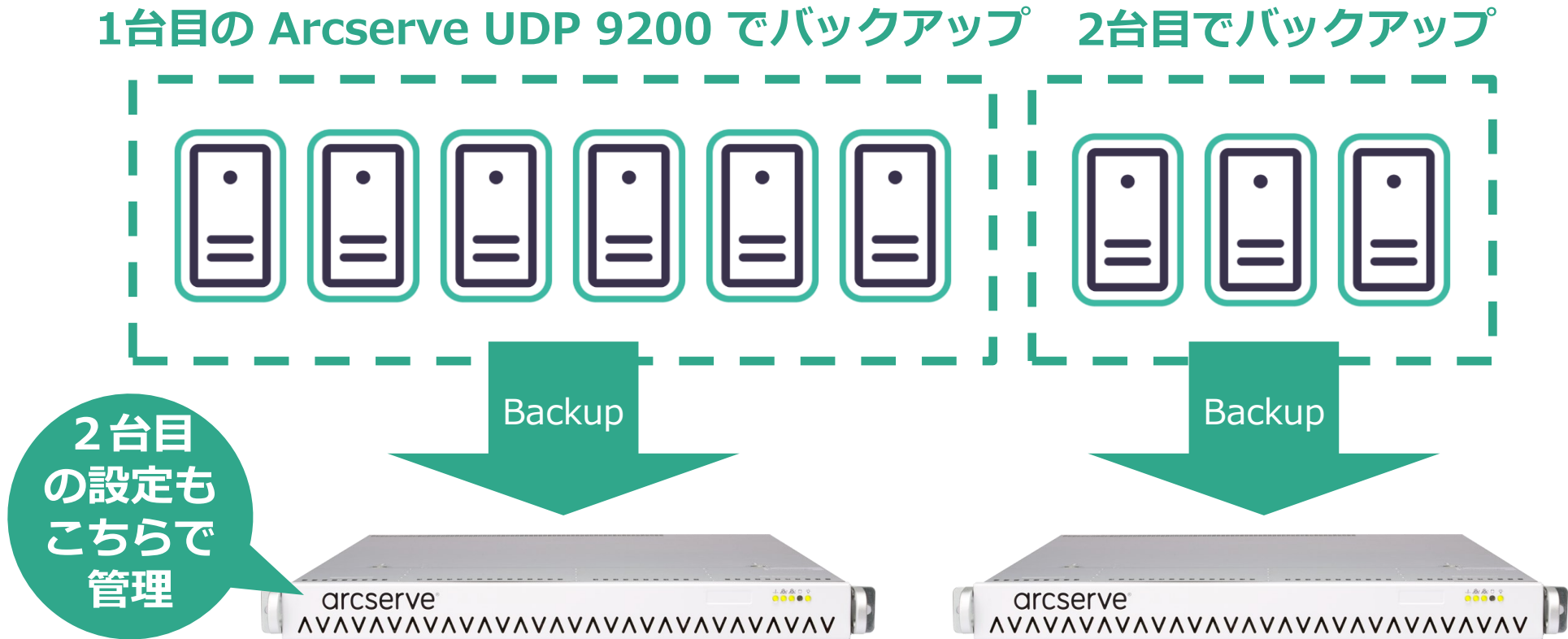
A 社 バックアップ ソフトウェア	2,000,000円
B 社 バックアップ サーバ	500,000円
C 社 バックアップ ストレージ	3,000,000円

合計: 5,500,000円



バックアップ容量がオーバーしたら？

Arcserve UDP 9000 シリーズは台数を増やしてスケールアウトが可能。
2台目以降のバックアップサーバも1つの画面で**統合管理**できます！





ストレージ/テープへの接続

イーサネット、SAS、FC などのカードを増設できます。

より**高速**なバックアップ/リストアや、**テープデバイス**への二次バックアップが可能になります。

[Arcserve UDP 9000 シリーズ背面パネル]



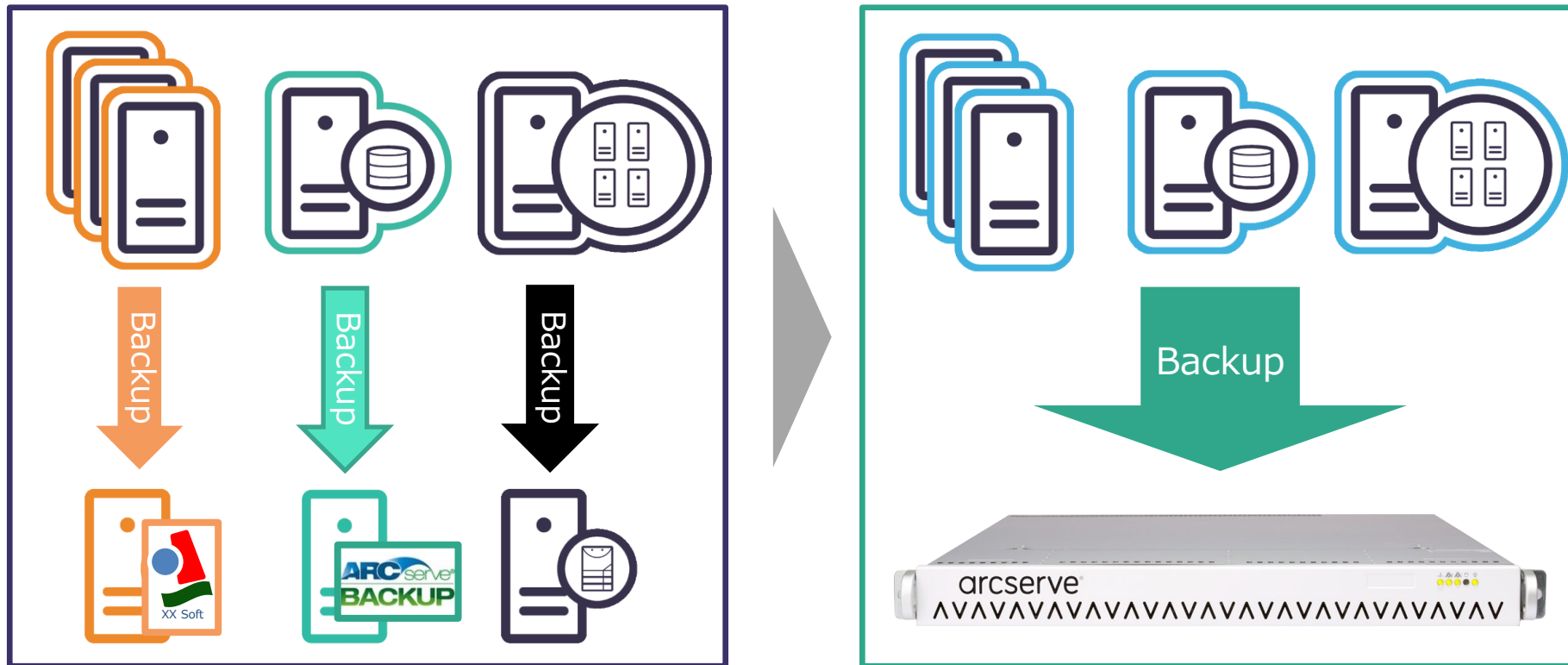
PCI-E 3.0 増設スロット

- ※ 増設カードはオプションとして購入する必要があります。
- ※ 1Uモデルは最大2つ、2Uモデルは最大6つ増設できます。



(利用例 1) 混在環境の統合管理





システムごとにバラバラで、時間がかかったバックアップの運用管理を
Arcserve UDP 9000 シリーズで **シンプルに統合** できます！





(利用例 2) 仮想化を検討中のお客様へ

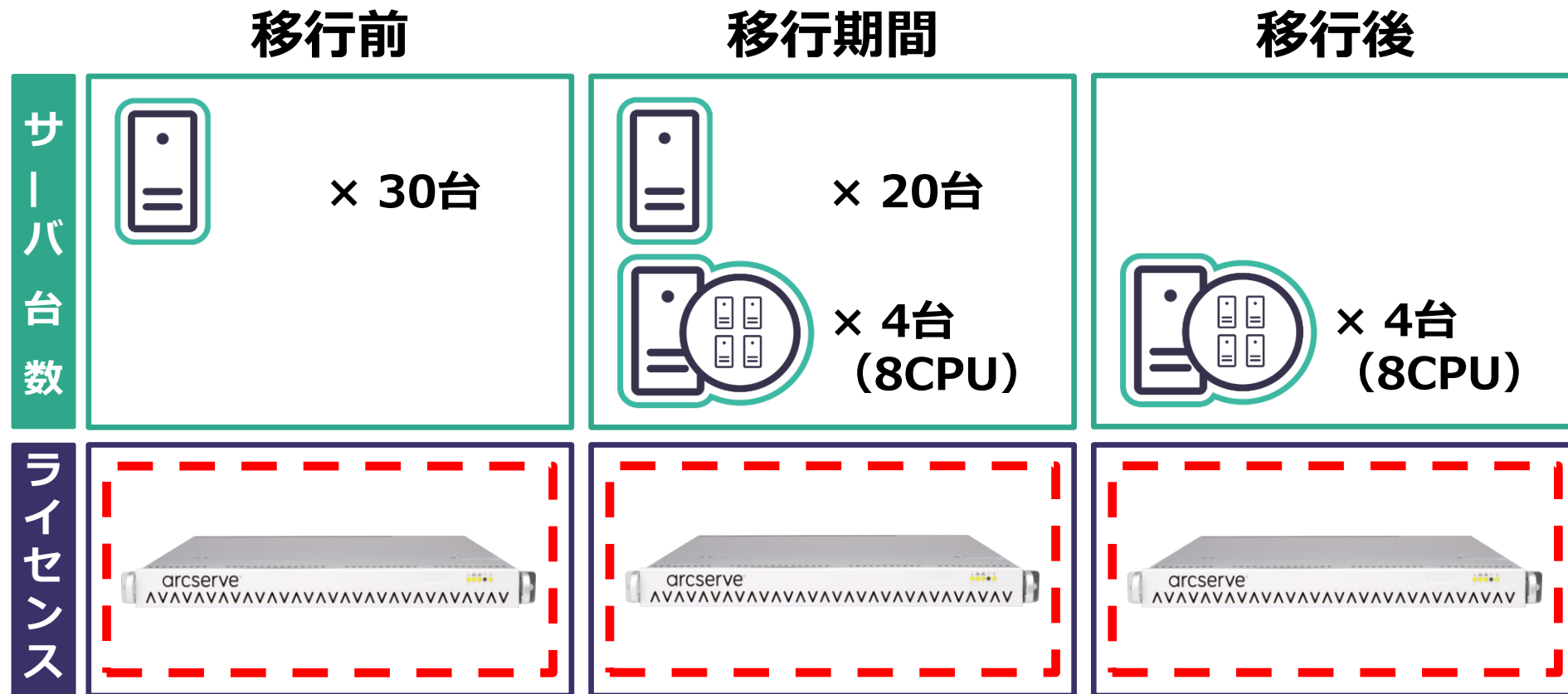
バックアップ対象に対して課金されるライセンス体系だと、
過渡期に無駄が出る可能性があります。

	移行前	移行期間	移行後
サーバ台数	 × 30台	 × 20台  × 4台 (8CPU)	 × 4台 (8CPU)
ライセンス	UDP per Server ×30	UDP per Server ×20 UDP Per Socket ×8	UDP Per Socket ×8



(利用例 2) 仮想化を検討中のお客様へ

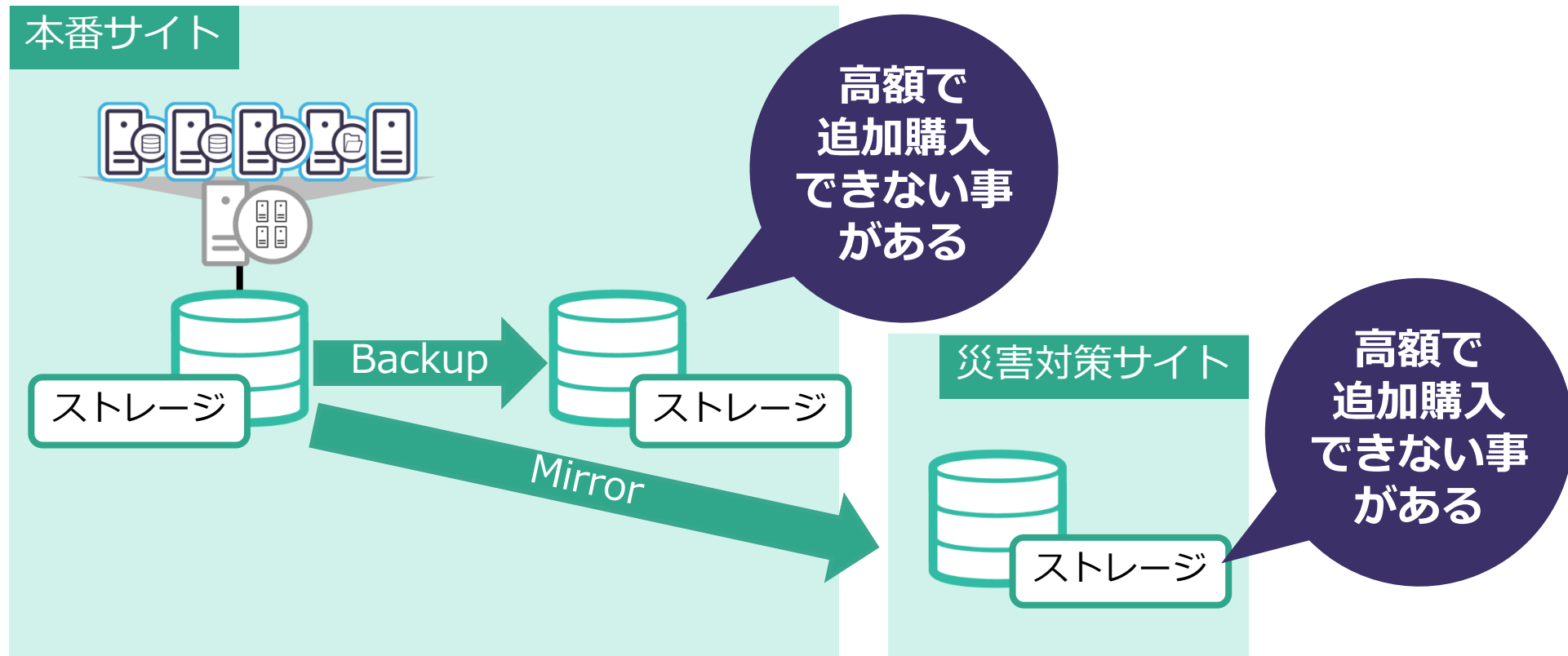
ライセンスが使い放題のArcserve UDP 9000シリーズなら
移行前も移行期間も移行後も**無駄なく**そのまま使えます！





(利用例 3) 仮想基盤の遠隔バックアップ

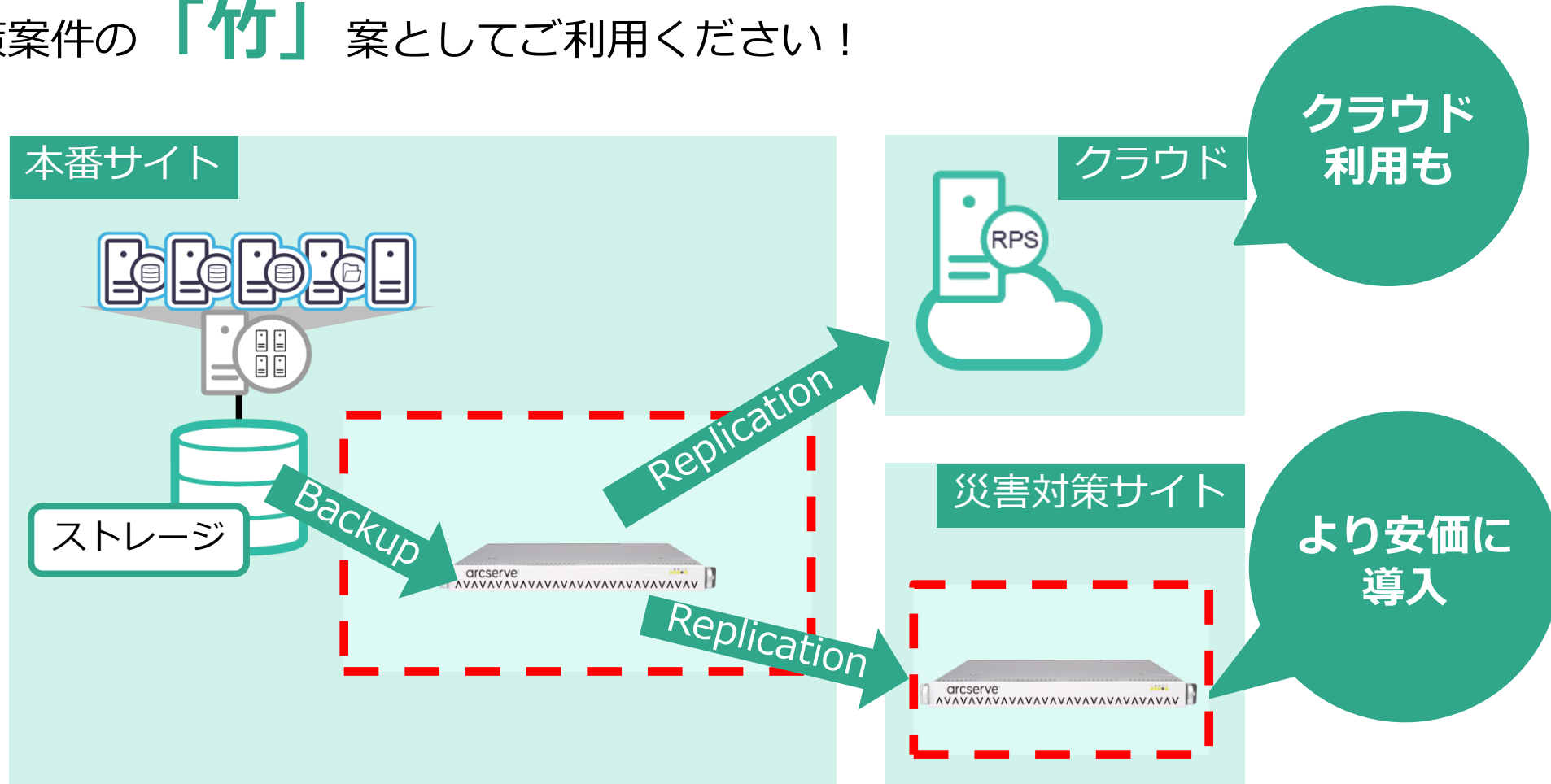
ストレージの機能でバックアップやデータの遠隔転送を行おうとすると、プライマリストレージと同等の高額なストレージが3倍の台数必要に…





(利用例 3) 仮想基盤の遠隔バックアップ

高すぎる遠隔バックアップを Arcserve UDP 9000 シリーズでより安価に。
災害対策案件の「竹」案としてご利用ください！



Arcserve UDP 9100/9200/9220 仕様



(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

	Arcserve UDP 9100	Arcserve UDP 9200	Arcserve UDP 9200-6	Arcserve UDP 9220	Arcserve UDP 9220-6
オペレーティングシステム	Windows Server 2019 Standard Edition				
ストレージ容量 (RAID設定)	4TB(RAID1)	12TB (RAID5)	8TB (RAID6)	24TB (RAID5)	16TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS x2	4TB SAS × 4		8TB SAS × 4	
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	240GB SSD			480GB SSD	
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4210, 10コア 20スレッド, 2.2 GHz				
RAM	32GB				
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2				
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 2 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能				
寸法 (H x W x D)	4.3 x 43.7 x 65cm (1U - 19" ラックマウントレール付)				
重量	14.5kg				
電源ユニット	700/750W x 2 (リダンダント)				
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	192W(194VA)/118W(121VA)/265W(267VA)				
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz				

標準搭載される機能

Arcserve UDP Advanced Edition : 継続的な増分バックアップ, 共有フォルダ (CIFS/NFS) のバックアップ, 仮想マシンのエージェントレスバックアップ, Windows PC の保護, Microsoft 365の保護, グローバルデデュプリケーション, システムのベアメタル復旧, ファイル/フォルダ単位のリストア, バックアップデータの遠隔転送, テープへの二次バックアップ(オプションの増設カードが必要), Active Directory / SQL Server / Exchange Server / SharePoint Server / Oracle DB のオンラインバックアップ, 仮想スタンバイ, インスタントVM, 統合管理コンソール 等

Arcserve UDP 9400/9420 仕様



(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

	Arcserve UDP 9400	Arcserve UDP 9420
オペレーティングシステム	Windows Server 2019 Standard Edition	
ストレージ容量 (RAID設定)	40TB (RAID6)	80TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 12	8TB SAS × 12
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	960GB SSD	1920GB SSD
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4210, 10コア 20スレッド, 2.2 GHz x 2	
RAM	64GB	
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2	
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 6 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能	
寸法 (H x W x D)	8.9 x 44.0 x 64.7cm (1U - 19" ラックマウントレール付)	
重量	25.5kg	
電源ユニット	1000/1200W x 2 (リダンダント)	
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	570W(572VA)/201W(206VA)/434W(437VA)	
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz	

標準搭載される機能

Arcserve UDP Advanced Edition : 継続的な増分バックアップ, 共有フォルダ (CIFS/NFS) のバックアップ, 仮想マシンのエージェントレスバックアップ, Windows PC の保護, Microsoft 365の保護, グローバルデデュプリケーション, システムのベアメタル復旧, ファイル/フォルダ単位のリストア, バックアップデータの遠隔転送, テープへの二次バックアップ(オプションの増設カードが必要), Active Directory / SQL Server / Exchange Server / SharePoint Server / Oracle DB のオンラインバックアップ, 仮想スタンバイ, インスタントVM, 統合管理コンソール等



ソフトウェア アップグレード オプション

Arcserve UDP 9000 シリーズの標準機能 (Advanced Edition) を強化し、**Premium / Premium Plus Edition** の機能が使用できるオプションです。

Edition 別機能一覧	Advanced / Advanced(AHV)	Premium	Premium Plus	利用できる製品
イメージバックアップ / 共有フォルダ (CIFS/NFS ※1) のバックアップ	●	●	●	Arcserve UDP
バックアップデータの重複排除や転送 (レプリケート)	●	●	●	
統合管理	●	●	●	
仮想マシンのエージェントレスバックアップ (vSphere/Hyper-V/AHV ※1)	●	●	●	
仮想スタンバイ/インスタントVM	●	●	●	
バックアップデータのテープ保管 (D2D2T)	●	●	●	
VSS ライタを利用したアプリケーションのオンラインバックアップ	●	●	●	
アシュアードリカバリとSLAレポート		●	●	Arcserve Backup
役割ベースの管理		●	●	
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp/Nimble/3PAR/DellEMC Unity)		●	●	
Arcserve Backup すべての機能/全エージェント/全オプションの利用 ※2		●	●	Arcserve Replication/HA
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製		●	●	
Arcserve Replication アプリケーション サーバのデータ複製			●	
Arcserve High Availability ファイル / アプリケーション サーバの自動切替			●	

※1 : 購入時に申請いただく事で、AHV 上の仮想マシンまたは Nutanix Files のバックアップを行うための Advanced Edition for Nutanix ライセンスを提供いたします。

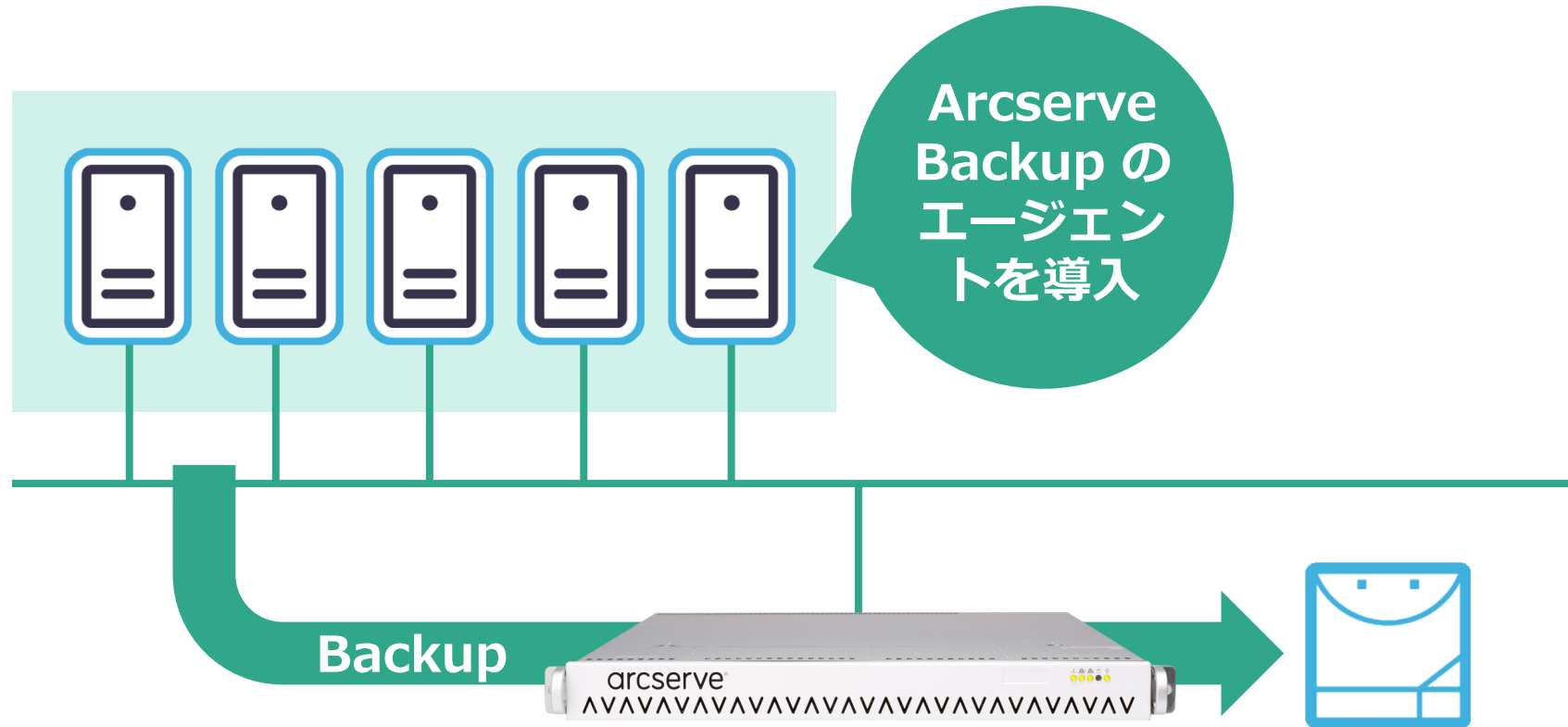
※2 : 「すべての機能/全エージェント/全オプション」とは、日本語の動作要件に記載されている製品 (機能) が対象です。



ソフトウェア アップグレード オプションの利用例

Arcserve UDP 9000 に接続したテープ装置へ一次バックアップ。

Premium Edition にアップグレードする事で、Arcserve UDP 9000 シリーズのストレージと同容量までのバックアップ対象データを **Arcserve Backup** で守れます。



※ 上記の構成ではテープ装置に接続するための SAS/FC オプション カードも必要です。



価格表（本体）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
本体製品		
Arcserve UDP 9100 Integrated Backup Appliance (RAID1、4TBモデル)	¥2,800,000	¥3,080,000
Arcserve UDP 9200 Integrated Backup Appliance (RAID5、12TBモデル)	¥3,800,000	¥4,180,000
Arcserve UDP 9200-6 Integrated Backup Appliance (RAID6、8TBモデル)	¥3,200,000	¥3,520,000
Arcserve UDP 9220 Integrated Backup Appliance (RAID5、24TBモデル)	¥6,800,000	¥7,480,000
Arcserve UDP 9220-6 Integrated Backup Appliance (RAID6、16TBモデル)	¥5,200,000	¥5,720,000
Arcserve UDP 9400 Integrated Backup Appliance (RAID6、40TBモデル)	¥9,000,000	¥9,900,000
Arcserve UDP 9420 Integrated Backup Appliance (RAID6、80TBモデル)	¥16,000,000	¥17,600,000

Price down!
Price down!

※ 最新の価格表は <https://arcserve.com/jp/jp-resources/licensing-options/> でご確認ください。

※ Nutanix AHV、Nutanix Files 環境をご利用予定の方は購入時に申請していただければ無償で対応するライセンスを提供します。

価格表 (オプション)



製品名称	価格 (税別)	総額 (税込価格)
ソフトウェア アップグレード オプション		
Software Upgrade to Premium Edition	¥2,000,000	¥2,200,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition	¥4,000,000	¥4,400,000
Software Upgrade to Premium Edition (9400,9420用)	¥5,000,000	¥5,500,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition (9400,9420用)	¥10,000,000	¥11,000,000
オプションカード		
4 port 1GbE network card (4 x RJ45 Copper)	¥85,000	¥93,500
2 port 25GbE network card (2 x SFP28)	¥101,000	¥111,100
2 port 10GbE network card (2 x RJ45 Copper)	¥165,000	¥181,500
HBA for Tape Devices - LSI SAS 9300-8e (2 x SFF8644 connector)	¥142,000	¥156,200
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (1 x 16Gb Fibre)	¥359,000	¥394,900
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (2 x 16Gb Fibre)	¥528,000	¥580,800
サポート オプション		
24時間365日 ハードウェア サポート オプション	¥1,600,000	¥1,760,000
Arcserve バリュースポート(1ヶ月)	¥100,000	¥110,000
Arcserve UDP 9100 (4TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション	¥30,000	¥33,000
Arcserve UDP 9200/9200-6 (12TB/8TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション	¥47,000	¥51,700
Arcserve UDP 9220/9220-6 (24TB/16TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション	¥84,000	¥92,400
Arcserve UDP 9400 (40TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション	¥116,000	¥127,600
Arcserve UDP 9420 (80TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション	¥241,000	¥265,100

もっと詳しく知りたい方は



Arcserve.com/jp のカタログ センターに掲載されている設定手順書やお客様導入事例、「よくある質問と回答」もご覧ください。

Arcserve カタログセンター

検索



シリーズ Backup UDP **UDP Appliance** Replication/HA

お客様導入事例 動画 ハンドブック

UDP Appliance

UDP Appliance - カタログ:
[UDP Appliance 7000 シリーズ製品カタログ](#)

UDP Appliance - プレゼンテーション:
[UDP Appliance ご紹介プレゼンテーション](#)

UDP Appliance - 技術情報:
[UDP Appliance パフォーマンス検証レポート](#)
[UDP Appliance 設置と環境設定手順](#)

研修コース

お申し込みは、以下のいずれかの代理店にご連絡ください。

株式会社富士通ラーニングメディア
[ホームページ](#) をご覧ください。
「キーワードで探す」にてArcserveで検索すると該当コースが表示されます。
※ 社外のページに移動します。

株式会社ネットワーク
お問い合わせ窓口へご連絡ください。
マーケティング本部Arcserve製品担当
03-5210-5187
arcserve-info@networld.co.jp
お問い合わせフォーム

製品に関する良くあるご質問と回答

arcserve®

Arcserve® UDP 8000 Appliance シリーズ

- Arcserve UDP 8000 Appliance シリーズ (以下 Arcserve UDP 8000 シリーズ) では標準でどの機能が使えますか？**
Arcserve UDP Advanced Edition の機能が使えます。Arcserve UDP Premium Edition の機能である「役割ベースの管理」や「ハードウェアスナップショット対応」、「アシュアードリカバリと SLA レポート」を使用するには、ソフトウェア・アップグレードオプション製品をご購入ください。
- 仮想スタンバイやインスタント VM 機能を使用できますか？**
はい、オプション不要で使用できます。パフォーマンスの観点で、Arcserve UDP 8000 シリーズとは別の VMware または Hyper-V の仮想基盤に仮想マシンを作成することをお勧めします。
- テープバックアップできますか？**
はい、二次バックアップ先としてテープデバイスへバックアップできます。本体購入時にオプションの増設カード (SAS/FC) を併せてご購入ください。

Arcserve UDP Appliance 導入事例



国際基督教大学 様

HCIへのシステム移行
(V2V) とエージェントレス
バックアップに Arcserve
UDP Appliance を採用。

入間市役所 様

ライセンスフリーの
Arcserve UDP Applianceで
仮想化基盤のバックアップ費
用を大きく削減！

江別市役所 様

Nutanix AHV と VMware
のバックアップ一本化。バック
アップの質が向上したことが
一番の効果。

arcserve® Arcserve UDP 7300 Appliance 導入事例 |

> 大学教育を支える仮想化システム
基盤 (HCI) をエージェントレスの
無停止バックアップで構築
物理サーバの仮借契約にライセンスフリーの Arcserve UDP 7300 Appliance が貢献

ユーザープロフィール | 業 種: 学校法人
学校名: 国際基督教大学
ICU 国際基督教大学

課題	経緯	導入	効果
<p>授業用サーバ、インフラ、AD、DNSなどのシステムを、物理サーバから仮想化環境へ移行する必要がある。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>2011年に導入したサーバのハードウェアの寿命が近づき、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>仮想化環境への移行と、Arcserve UDP 7300 Appliance の導入により、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>バックアップにかかるコストを削減し、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>

assured recovery

arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例 |

新仮想化基盤に導入した
Arcserve UDP Applianceで
目指すのは、行政サービスの向上
中長期的IT戦略にも対応可能なライセンスフリーでコスト削減と事業継続性向上を後押し

ユーザープロフィール | 業 種: 自治体
会社名: 埼玉県入間市

課題	経緯	導入	効果
<p>業務用サーバ、インフラ、AD、DNSなどのシステムを、物理サーバから仮想化環境へ移行する必要がある。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>2011年に導入したサーバのハードウェアの寿命が近づき、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>仮想化環境への移行と、Arcserve UDP 7300 Appliance の導入により、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>バックアップにかかるコストを削減し、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>

arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例 |

Nutanix AHV の新仮想化基盤の
バックアップに
Arcserve UDP Applianceを採用
エージェントレス、60%削減の運用コストなどで運用負荷も軽減

ユーザープロフィール | 業 種: 自治体
会社名: 北海道江別市

課題	経緯	導入	効果
<p>業務用サーバ、インフラ、AD、DNSなどのシステムを、物理サーバから仮想化環境へ移行する必要がある。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>2011年に導入したサーバのハードウェアの寿命が近づき、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。また、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>仮想化環境への移行と、Arcserve UDP 7300 Appliance の導入により、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>	<p>バックアップにかかるコストを削減し、システム全体の運用、管理、保守、バックアップ、リカバリなど、24時間稼働を必要とする。</p>

導入前にご参加ください：Arcserve 無償ハンズオン セミナー



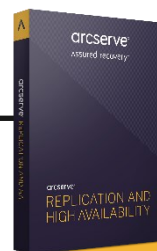
Arcserve
Backup

1. 入門編
2. システム復旧編



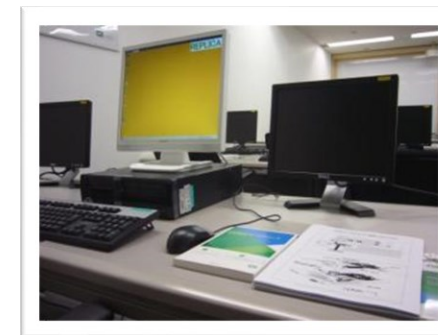
Arcserve
UDP

1. 前編(Agent)
2. 後編(Server)
3. Linux Agent 編



Arcserve
Replication/
High Availability

1. 前編 (Replication)
2. 後編 (HA)



お申込 & 詳細はWebで！

Arcserve セミナー

検索

